

平成27年度 学校経営計画及び学校評価

1 めざす学校像

一人ひとりが自分らしい生き方で社会に貢献できるよう、豊かな人間性と確かな学力が育つ学校をめざす。

- 1 建学の精神「報恩感謝」を大切にし、教育理念「人をつくる」ことに基づく教育を実践することにより、人間的な成長・発展を実現し人格の形成をめざす。
- 2 生活・学習の両面において、きめ細かい指導を行い、自立にむけて必要とされる基盤となる能力や態度を育成する。
- 3 一人ひとりが持つ可能性を開花させるため、学校行事や部活動への積極的参加を促し、豊かな人間力を育成する。
- 4 保護者・同窓会・後援会と連携するとともに、地域とのつながりの強化を図る。

2 中期的目標

【1】建学の精神に基づく教育の実践を行い、私学としての独自性を発揮する。

(1) 私学の独自性

建学の精神「報恩感謝」・教育理念「人をつくる」ことを教職員がよく理解し、それに基づいて教育を行う。

※入学式・卒業式・全体集会などの取り組みを通じて、建学の精神や教育理念について生徒の理解を深める。

※教育方針「個性の尊重」「実行から学べ」「明朗と自主」「礼儀と品性」に基づき、学校行事も含めあらゆる教育活動を通して、人格形成を図る。

(2) 生徒のニーズに対応したコース制

生徒の多様なニーズに対応し、英数・英数発展・6年一貫の3つのコース制を設けて教育活動を行う。

※英数コースは、勉強はもとより部活動もしっかり取り組めるコース。心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図る。

※英数発展コースは、応用的な内容まで掘り下げた授業を展開し、何事も深く追求したいというニーズに応える。

※6年一貫コースは、自分の夢・目標を実現させる力を備え、これからの社会で活躍できる人材を育成する。

【2】基本的な生活習慣の確立を行うとともに、学習面において、きめ細かい指導を行い、確かな学力を育成する。

(1) 生活指導

※基本的な生活習慣と規律ある態度を養うように指導を行い、集団生活における社会性を身につけさせる。

※挨拶運動・シェアシート運動等を実施し、基本的なマナーの実践に努める。

(2) 教科指導

※各教科は基礎・応用に細かな指導を行うため年間を通じた教育計画を立て、シラバスに沿って指導する。

※授業に創意工夫を行い、分かりやすい授業を行う。

※学力の向上をめざすため、早朝テスト・放課後学習・休暇中の講習を実施する。

【3】安全で安心な学校づくりと生徒への支援

(1) 人権教育

生徒一人ひとりが互いの個性を尊重し合う集団づくりを行うとともに、人権を尊重する学校づくりを行う。

※人権感覚を持ち相手の身になって行動できるよう、日々の学校生活すべての活動を通して相手を思いやることができるよう指導する。

※いじめ等を未然に防ぐため各学年、日直面談を行い、学期ごとに「仲間づくりアンケート」を実施するなど生徒との接点を密にする努力を行う。

※障がい者と外国人差別について(1年)、身分差別と平和学習(2年)、総まとめと進路について(3年)と学年毎にテーマを決め人権教育を行う。

※12月の人権週間には人権講演を実施する。

(2) 危機管理と情報公開

生徒の安全・安心を優先して危機管理に当たり、私学の有する公の性質と学校教育に果たす役割を考慮して情報を公開する。

※教職員は生徒の安全が何よりも大切であるという認識を日頃からもち、危機管理マニュアルを作成し、安全・安心な学校をめざす。

※学校ホームページ等で可能な範囲の教育活動や情報の公開を行う。

(3) 課題を抱えている生徒への支援と進路希望

※生徒が抱えている問題に対して、一人ひとりを大切にしたいきめ細かい相談・指導を行う。

※個々の生徒に応じた希望・目標を実現させるよう、進路相談や進路支援を行う。

【4】保護者・同窓会・後援会との連携と地域への社会貢献

保護者・同窓会・後援会との連携をすすめるとともに、地域の社会活動や啓発活動等に協力する。

※保護者と協力しPTA活動を活発にするとともに、保護者・同窓会・後援会との連携し、文化祭・体育会などの生徒会活動を支援する。

※自治体等から依頼される式典・啓発活動等で地域に協力する。

【自己評価アンケートの結果と分析・学校協議会からの意見】

自己評価アンケートの結果と分析 [(平成27年度)平成27年12月実施]	学校協議会からの意見 (平成28年5月9日実施)
<p>評価項目：教育活動全般及び学校に対する全体的評価を行う 評価方法：各項目について、5段階評価で行う 5：大変そう思う 4：どちらかといえば思う 3：普通 2：あまり思わない 1：全く思わない</p> <p>○生徒・保護者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「入学してよかったか」の設問では保護者4.3、生徒4.3と昨年度より保護者の評価が0.1ポイント下がったが、目標値(4.3)であり、これからもより良い評価を目指す。 ・「基本的生活習慣」の再確認と育成を行い、目標値4.0以上としたが、生徒は昨年3.7から4.2、保護者は昨年4.4から4.0となり、生徒は自分の行動に自信を持ち始め、保護者は子供の行動に満足感が多少不足しているようだ。また、生活習慣は全ての基本であり、今後も教育の最重点課題として取り組む。 ・「いじめの対応」が目標値(4.0)に達していない。講演会(保護者対象・生徒対象・教員対象)・日直面談や職員研修などを実施し、特に見えにくい情報機器による誹謗中傷の予防に力を注いだ結果0.1ポイント下降し、依然満足度は低い。全ての生徒が楽しく安全な学校生活を過ごせるように今後もより一層の努力をし、取り組む。 設問【⑩いじめの対応は適切か】 (生徒 26年度3.7/27年度3.6) 	<p>○ 生徒・保護者による学校評価アンケート結果に対する外部評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体的にみて、「入学してよかったか」の設問に対しては高評価ですが、子供のそのときの状況によって回答が左右しているところもあるのではないかと。 ・「基本的生活習慣」については生徒の考えと保護者の考えが逆転している。保護者からみた生徒指導の充実が期待されているのではないかと。しかし、挨拶はよくしてくれていると思う。また、シェア・ザ・シート運動については、認知されていないのではないかと。もう少しキャンペーンを充実させるべきである。保護者はシェア・ザ・シートの意味をわかっていない。 先生は規則や挨拶、礼儀が身につくように指導しているという設問には、適度であると考えている。 ・「いじめ」防止のための日直面談等での話の内容をより充実させる努力をお願いしたい。また、人権講演の様子や生徒の感想文の一部などを発信すれば、より保護者に伝わるのではないかと。しかし、人権教育について子供たちはよく理解できているように思う。

<ul style="list-style-type: none"> ・「学力のつく学習」の更なる実践を目指しました。目標値4.3以上に設定し教員・生徒共に目標値をクリアできるように頑張ったがアンケートの数値は低く、生徒自身が自分自身を評価するため、判定基準を厳しくしているように思われます。外部模試や高校合格実績から判断するともっと高い数値でも良いと思われるが、来年度は生徒の学習意欲の向上に向けてより一層創意工夫を行う。 設問〔⑥生徒は授業に意欲的か〕 (生徒 26年度3.7/27年度3.6) ・「クラブ活動と多彩な行事」は「実行から学べ」の教育方針のもと、体験を通して学んだ知識を使いこなせる能力を身につけるために力を注いでいる。人間力の育成に重要な行事やクラブ活動及び人間関係の項目が高評価である。 設問〔⑮行事は充実しているか〕 (生徒 26年度4.4/27年度4.3) 設問〔⑭クラブ活動は楽しいか〕 (生徒 26年度4.2/27年度4.2) ・全項目における平均は保護者4.0 生徒4.0で、保護者の満足度が0.1ポイント昨年度よりも下がっている。 各項目別に目標値を決め、基本的な生活習慣の定着はもとより人間力の育成・学力の向上に向けてより一層努力が必要である。 <p>○教職員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校運営に関する評価については当面の目標である4.3以上の評価が設問中の2項目しかなかった。また、昨年度と比べ評価が上昇傾向にあるが、教育方針や学校運営を教職員が良く理解し、教育を実践するよう努力が必要である。 ・教育内容に関する評価については、設問中の8項目で当面の目標4.3以上の評価である。ここでは人権教育や読書タイム・生徒会活動・授業を受ける基本的なマナーの評価が高い。 ・生徒指導・支援に関する評価については、10の設問があるが全体的に高評価である。4.3を下回る項目は昨年より3項目減り1項目となり教員の努力が伺えるが、これに満足せず一層の学習支援・進路相談等に努力を重ねることが必要である。 ・教員研修・資質向上に関する評価については3項目すべてに評価が低く、その改善に努力した成果が見えない。特に、個々の教員が自己研鑽や研修に参加した場合、職員会議や職員研修の場で発表し、成果の共有をしなければならない。また、学校は経験交流の場を設け学び合う環境作りを考えたい。 <p>【分析】</p> <p>学校目標に沿い、教員がどのように努力し、どの程度達成できたかを自己評価した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査結果を分析して、そこから見えてきた新たな課題を、今後の学校改革・教育改善の目標としてしっかりと取り組んでいきたい。生徒一人ひとりを大切にしながら、教員相互の連携・協力をより密にとり、今後さらに研鑽を重ね教員の教育力・人間力の向上を図り、より良い教育の実践を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業がわかりやすいかという設問には、子供によって受け止め方はさまざまであり、保護者は参観ぐらいなのでわかりにくい、けじめをもう少しつけ、メリハリをつける授業展開も必要ではないか。 ・クラブ活動は楽しく参加できており、宿泊研修や校外学習などの多彩な行事は生徒を成長させている。自分プロジェクトについては親がわからないことも多いが、良い経験になっていると思う。ただそれが夢とつながっていないだけではないか。 ・全体的にみて、評価はおおむね良いが指摘した部分の検証と改善方策を行い、来年度にむけてより良い学校運営に期待したい。 <p>○ 教員による自己評価集計結果報告に対する外部評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入学式などの式辞の中で建学の精神や教育方針が解説されていて教職員の理解はされていると考える。今後、更なる努力をお願いしたい。 ・教育内容について、教員の自己評価は高評価であるが、生徒評価との差が大きい。生徒と寄り添い、よりわかりやすい授業の展開を期待したい。 ・生徒指導に関しては、教員と生徒の両方が高評価なのでおおむね良いと思われる。 ・保護者の立場から、どの教員が研修や自己研鑽に参加したのかわからない。参観などで研修や自己研鑽の成果を見学したい。 <p>○ 結果</p> <p>教員による自己評価は、おおむね高評価であるということは、努力されているということである。しかし、生徒・保護者との評価の差があるということは改善の余地が残されている。今後の努力を期待したい。</p>
---	---

3 本年度の取組内容及び自己評価
平成27年度

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
1 建学の精神に基づく教育の実践と私学としての独自性	(1) 私学の独自性	<ul style="list-style-type: none"> ・入学式・卒業式・全体集会などを通じて、建学の精神・教育理念について生徒に話をし、理解を深める。 ・教育方針「個性の尊重」「実行から学べ」「明朗と自主」「礼儀と品性」に沿って、学校行事も含めあらゆる教育活動を通して、人格形成を図る。 	<p>私学であるため教員による建学の精神及び教育方針の理解及び実践が4.3であるが、4.5を目標とする。 (平成26年度 4.3)(平成27年度 4.3) (平成27年度 4.4)</p>	<p>建学の精神・教育理念について、教員の理解が目標値に達していない。今後、諸式諸会合だけでなく、研修や会議での理解を求めてゆく。</p>
	(2) 生徒のニーズに対応したコース制	<ul style="list-style-type: none"> ・英数コースは、勉強はもとより部活動もしっかり取り組めるコース。心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図る。 ・英数発展コースは、応用的な内容まで掘り下げた授業を展開し、何事も深く追求したいというニーズに応える。 ・6年一貫コースは、自分の夢・目標を実現させる力を備え、これからの社会で活躍できる人材を育成する。 	<p>コースの特徴を理解し、勉学に励んでいるか4.0を目標とする。(平成26年度 4.0) 英数コース(平成27年度 生徒4.1 保護者4.1) 英数発展コース(平成27年度 生徒4.3 保護者4.2) 6年一貫コース(平成27年度 生徒4.0 保護者4.0)</p>	<p>各コースの特徴と理解については、各コースとも目標値に達している。現状に満足せず、今後も高評価を得られるよう、教職員の努力を促す。</p>

<p>2</p> <p>基本的な生活習慣の確立と確かな学力の育成</p>	<p>(1) 生活指導</p> <ul style="list-style-type: none"> 基本的な生活習慣と規律ある態度を養う指導を行い、集団生活における社会性を身につけさせる。 重点を置いた指導として、挨拶運動・シェアシート運動を実施する。 <p>(2) 教科指導</p> <ul style="list-style-type: none"> 各教科は基礎・応用を徹底的に行うため、年間を通じた教育計画を立て、シラバスに沿って指導する。 授業に創意工夫を行い、分かりやすい授業を行う。 学力の向上をめざすため、早朝テスト・放課後学習・休暇中の講習を実施する。 	<p>教員による、規則を守らせる指導・挨拶・礼儀を重んじる目標は4.5以上(平成26年度4.6)であったが、生徒・保護者による教員の規則を守らせる指導(平成26年度 生徒4.1 保護者4.1)差0.5を縮めることを目標とする。</p> <p>教員によるシラバスに沿った指導の目標を4.3にする。(平成26年度4.3)</p> <p>また、教員による授業に創意工夫を行い、分かりやすい授業の展開の目標値を4.5にし、(平成26年度4.5)生徒・保護者による授業は分かりやすいか。(平成26年度 生徒3.8 保護者3.8)との開きが大きい、生徒保護者の目標値を4.2以上に設定する。</p> <p>教員による生徒の学力向上・学習の遅れている生徒への支援を個々の生徒の実態に合わせて行なっている。(平成26年度4.1)生徒・保護者による学校の学力向上への努力の数値がほぼ一致しているが(平成26年度 生徒4.0 保護者4.1)それぞれ4.3以上を目標としたい。</p> <p>生徒・保護者による生徒の学力向上への意欲が低く(平成26年度 生徒3.7 保護者3.9)4.0を目標とする。</p>	<p>教員による、規則を守らせる指導は自己評価では(平成27年度4.5)で0.1ポイント下降しているが、目標値レベルでとどまったが、生徒・保護者の評価は(平成27年度 生徒4.2 保護者4.0)であり、目標を達成できず次年度には更なる努力につとめたい。</p> <p>挨拶運動・シェアシート運動については(平成27年度 生徒3.5 保護者3.6)と評価が低い、生徒は、なかなか勇気をもって他人に声をかけることが出来ないようである。次年度は教員自ら進んで行動するように努めたい。</p> <p>評価は(平成27年度4.2)で目標値を下回った。次年度は各教科の中で改善点を見つけ計画を立てるようにする。</p> <p>分かりやすい授業の展開の目標値を4.5に設定したが(平成27年度4.3)であり、教員自らまだ出来るように考えているようだ。</p> <p>また、生徒・保護者の評価は(平成27年度 生徒3.9 保護者3.8)とわずかに上昇したが目標値までは届かず、次年度にむけ更なる研鑽に努めたい。</p> <p>教員による生徒の学力向上・学習の遅れている生徒への支援の評価は(平成27年度4.3)で目標値に達しているが、生徒、保護者の評価は(平成27年度 生徒4.0 保護者3.9)と特に保護者のポイントが低下している。目標値まで更なる努力が必要である。</p> <p>生徒の学力向上への意欲が(平成27年度 生徒3.6 保護者3.8)両者とも0.1ポイント下降している。次年度に向け、教員は学習への意義や興味を理解させるよう取り組む。</p>
<p>3</p> <p>安全で安心な学校づくりと生徒への支援</p>	<p>(1) 人権教育</p> <ul style="list-style-type: none"> 人権感覚を持ち相手の身になって行動できるよう、日々の学校生活すべての活動を通して人権教育を行う。 いじめ等を防ぐため各学年、日直面談を行い、学期ごとに「仲間づくりアンケート」を実施し、人権意識を育てる。 障がい者と外国人差別について(1年)、身分差別と平和学習(2年)、総まとめと進路について(3年)と学年毎にテーマを決め人権教育を行う。 12月の人権週間には人権講演を実施する。 <p>(2) 危機管理と情報公開</p> <ul style="list-style-type: none"> 教職員は生徒の安全が何よりも大切であるという認識を持ち、危機管理マニュアルを作成し、安全・安心な学校をめざす。 学校ホームページの公開掲示板等で可能な範囲の教育活動や情報の公開を行う。 <p>(3) 生徒への支援と進路希望</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒が抱えている問題に対して、きめ細かい相談・指導を行う。 個々の生徒に応じた希望・目標を実現させるよう、進路相談や進路支援を行う。 	<p>教員は周囲の人を尊重し、よりよい人間関係を築いていく態度を養う教育を実践している。</p> <p>(平成26年度4.6)目標値に達しているが、生徒・保護者による教員の「いじめ」の対応は適切か(平成26年度 生徒3.7 保護者3.7)と低い、目標は4.0以上と設定する。</p> <p>教員は人権に係わる様々な問題に関心を持ち、人権意識を高める教育を実践している。</p> <p>(平成26年度4.4)</p> <p>(平成26年度 生徒4.1 保護者3.9)</p> <p>安心・安全な学校を目指すには、危機管理マニュアルの整備(平成26年度4.3)及び、緊急時の警察、消防との連携・訓練等の学校安全対策は(平成26年度4.3)4.5以上の目標が必要である。</p> <p>情報公開については、保護者の満足度が低く、(平成26年度 保護者3.9)4.2以上を目指す。</p> <p>日頃、担任は日直面談等きめ細かい相談・支援を行なっていると思われるが(平成26年度4.5)生徒の個人面談等の満足度は低い。(平成26年度 生徒4.0)両方とも4.2以上を目標とする。</p> <p>生徒の将来を見据え、進路情報の提供や進路ガイダンス(平成26年度4.4)及び、個々の生徒に応じた目標を実現させるよう、進路相談や進路支援を行なっている</p> <p>目標値はクリアしているが、4.5以上を目指す。</p>	<p>よりよい人間関係を築いていく態度を養う教育は(平成27年度4.3)で0.3ポイント下降した。</p> <p>また、いじめ等を防ぐための日直面談やアンケートは(平成27年度 生徒3.5 保護者3.8)と評価が低い、次年度に向け人権意識を高めることが必要である。</p> <p>教員の「いじめ」の対応は適切か(平成27年度 生徒3.6 保護者3.7)と評価が低く、「いじめ防止基本方針」をもとに教員の研修を図りたい。</p> <p>学校の人権講演や道徳的な行事については(平成27年度 生徒4.3 保護者3.9)と生徒は学校が人間教育に努力していると考えているが、今後、保護者からの理解にも努めたい。</p> <p>危機管理マニュアルの整備や緊急時の警察、消防との連携・訓練等の学校安全対策は4.5以上の目標を設定したが、(平成27年度4.0)と下がっている。また、生徒・保護者の評価も(平成27年度 生徒4.0 保護者3.9)と目標値を大幅に下回っている。生命に関わる問題なので、早急に安全対策の再考を進める。</p> <p>情報公開については、(平成27年度 生徒4.0 保護者3.9)昨年と横ばいになっている。情報の発信について、検討を重ねたい。</p> <p>きめ細かい相談・支援について自己評価(平成27年度4.3)と0.2ポイント下降。生徒の満足度も(平成27年度 生徒3.8)と0.2ポイント下降している。教員の雑務の多忙さもあるが、原因究明し改善に努めたい。</p> <p>進路情報の提供や進路ガイダンスは(平成27年度 生徒4.2)とほぼ役立っているようだが、昨年より0.2ポイント下がっている。次年度に向けて、より分かり易い進路情報提供をおこなう。</p>

<p>4 保護者・同窓会・後援会との連携と地域への社会貢献</p>	<p>保護者・同窓会・後援会との連携をすすめるとともに、地域の社会活動や啓発活動等に協力する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者と協力しPTA活動を活発にするとともに、保護者・同窓会・後援会との連携し、文化祭・体育会などの生徒会活動を支援する。 ・自治体等から依頼される式典・啓発活動等で地域に協力する。 	<p>保護者から見るPTA活動は(平成26年度 保護者3.8)目標値レベルであるが、生徒から見る生徒会活動は(平成26年度 生徒3.7)満足度が低い、目標値を4.0以上にする。</p>	<p>PTA活動について(平成27年度 保護者3.8)と昨年と同じであるが、生徒から見る生徒会活動については(平成27年度 生徒4.1)と大幅に上昇している。体育会や文化祭などを通じて地道な努力が認知されたと考えられる。</p>
---------------------------------------	---	---	--	--